

## 1 製品及び会社情報

製品名 ; くみあい水稻専用 L P コート入り複合 0 2 2 - B D 9 0 号  
別名 ; 水稻直播一発中生種用  
会社名 ; 全国農業協同組合連合会  
担当部署 ; 耕種資材部  
住所 ; 〒100-6832 東京都千代田区大手町 1-3-1 JA ビル 33F  
電話番号 ; 03-6271-8285  
F A X 番号 ; 03-5218-2536  
e-mail ; zz\_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp  
緊急連絡先 ; 03-6271-8285

推奨用途及び使用上の制限 ; 肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないでください。

## 2 危険有害性の要約

### 製品の G H S 分類

|           |                      |            |
|-----------|----------------------|------------|
| 物理化学的危険性  | 可燃性固体                | : 区分に該当しない |
|           | 自然発火性固体              | : 区分に該当しない |
| 健康に対する有害性 | 酸化性固体                | : 区分に該当しない |
|           | 金属腐食性物質              | : 区分に該当しない |
|           | 急性毒性 (経口)            | : 区分に該当しない |
|           | 急性毒性 (経皮)            | : 分類できない   |
|           | 急性毒性 (吸入)            | : 分類できない   |
|           | 皮膚腐食性/刺激性            | : 分類できない   |
|           | 眼に対する重篤な損傷性<br>/眼刺激性 | : 分類できない   |
|           | 呼吸器感作性               | : 分類できない   |
|           | 皮膚感作性                | : 分類できない   |
|           | 生殖細胞変異原性             | : 分類できない   |
|           | 発がん性                 | : 分類できない   |
|           | 生殖毒性                 | : 分類できない   |
|           | 特定標的臓器毒性<br>(単回ばく露)  | : 分類できない   |

# 製品安全データシート

整理番号：jcam-6015  
改定日：2021年5月20日

|           |                     |          |
|-----------|---------------------|----------|
| 環境に対する有害性 | 特定標的臓器毒性<br>(反復ばく露) | : 分類できない |
|           | 誤えん有害性              | : 分類できない |
|           | 水生環境有害性 短期(急性)      | : 分類できない |
|           | 水生環境有害性 長期(慢性)      | : 分類できない |

## GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル なし

注意喚起語 なし

危険有害性情報 なし

## 注意書き

- 【安全対策】 保護眼鏡、保護手袋を着用すること。  
取り扱い後は手をよく洗うこと。  
粉じんを吸入しないこと。  
換気の良い場所で使用すること。
- 【救急処置】 気分が悪い時は、医師に連絡すること。  
眼に入った場合には、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外して洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。
- 【保管】 容器を密閉して保管すること。
- 【廃棄】 製品又は容器を廃棄する場合は、国及び地方自治体の規則に従うこと。

## 3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 : 指定配合肥料

| 主成分          |          | 含有量※1)<br>(%) | 化学式                                                                  | 官報公示整理番号<br>(化審法・安衛法) | CAS No.     |
|--------------|----------|---------------|----------------------------------------------------------------------|-----------------------|-------------|
| LP コート       | 尿素       | 40～45         | (NH <sub>2</sub> ) <sub>2</sub> CO                                   | 2-1732                | 57-13-6     |
|              | 樹脂組成物※2) | 10 未満         | -                                                                    | -                     | -           |
| 塩化カリウム       |          | 20～25         | KCl                                                                  | 1-228                 | 7447-40-7   |
| リン酸水素二アンモニウム |          | 15～20         | (NH <sub>4</sub> ) <sub>2</sub> HPO <sub>4</sub>                     | 1-379                 | 7783-28-0   |
| 過リン酸石灰       |          | 10 未満         | Ca (H <sub>2</sub> PO <sub>4</sub> ) <sub>2</sub> +CaSO <sub>4</sub> | -                     | -           |
| ホワイトカーボン     |          | 10 未満         | SiO <sub>2</sub>                                                     | -                     | 112926-00-8 |

※1) 含有量は代表的な分析値であり、若干の幅で変動する。

※ 2) ポリエチレン、ポリエチレン系樹脂、その他

労働安全衛生法に基づく、名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

該当なし

化学物質排出把握管理促進法に基づく対象物質

該当なし

## 4 応急措置

- |           |                                                   |
|-----------|---------------------------------------------------|
| 吸入した場合    | : 分解ガスや粉塵の場合は、新鮮な空気のある場所に移し安静にさせ、必要に応じて医師の診断を受ける。 |
| 皮膚に付着した場合 | : 水で洗い流す。                                         |
| 眼に入った場合   | : 1. 直ちに多量の清水で洗眼する。<br>2. 必要に応じて医師の診断を受ける。        |
| 飲み込んだ場合   | : 意識があるときには、飲んだものを吐き出させ、必要に応じて医師の診断を受ける。          |

## 5 火災時の措置

- |             |                                                                  |
|-------------|------------------------------------------------------------------|
| 適切な消火剤      | : 多量の水                                                           |
| 使ってはならない消火剤 | : 情報なし                                                           |
| 火災時の危険有害性   | : 火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム(またはガス)が発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。 |
| 特定の消火方法     | : 本製品は不燃性であるが、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動が困難な時は、周辺を水噴霧で冷却する。         |
| 消火を行う者の保護   | : 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。<br>状況に応じて呼吸保護具を着用する。                 |

## 6 漏出時の措置

- |                       |                                                                                                               |
|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 | : 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切な保護マスク等を着用し、粉塵を吸入しないようにする。<br>風上から作業し、風下の人を退避させる。可燃性物質に着火した場合に備えて、消火機材を準備する。 |
| 環境に対する注意事項            | : 河川等に排出され、環境へ影響を及ぼさないように注意する。<br>排水溝へ流さない。                                                                   |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材       | : 掃き集めて回収する。                                                                                                  |

## 7 取扱い及び保管上の注意

- |       |                                                         |
|-------|---------------------------------------------------------|
| 取扱い   |                                                         |
| 技術的対策 | : 発散した粉じんを吸いこまないように、必要に応じて適切な保護具を着用し、取扱い後は顔、手、口等を水洗いする。 |
| 接触回避  | : 可燃性物質との近接は避ける。                                        |

|           |                                                                                                    |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 安全取扱注意事項  | : 1. 床にこぼれた粒で足元が滑り、転倒する事があるので、掃除する。<br>2. 容器は破損につながらないように丁寧に取り扱う。                                  |
| 保管        |                                                                                                    |
| 安全な保管条件   | : 1. 開封のまま長期間放置すると、吸湿して固結の原因となるので、開封後は密封して保管する。<br>2. 直射日光を避け、高温・多湿下での保管は避ける。<br>3. 可燃性物質との近接は避ける。 |
| 安全な容器包装材料 | : ポリエチレン、ポリプロピレン                                                                                   |

## 8 暴露防止及び保護措置

|           |                                                                                                                                        |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 設備対策      | : 発塵を起こさぬ装置機械を使うか、局所排気装置を使用する。                                                                                                         |
| 管理濃度      | : 設定なし。                                                                                                                                |
| 許容濃度      | : 日本産業衛生学会、ACGIH 共に、本品の設定はないが、粉塵対応として、下記の値を推奨する。<br>日本産業衛生学会勧告値（2020 年）第 3 種粉塵<br>吸入性粉塵 2 mg/m <sup>3</sup><br>総粉塵 8 mg/m <sup>3</sup> |
| 保護具       |                                                                                                                                        |
| 呼吸器の保護具   | : 防塵マスク                                                                                                                                |
| 手の保護具     | : ゴム手袋                                                                                                                                 |
| 目の保護具     | : ゴーグル型眼鏡                                                                                                                              |
| 皮膚・身体の保護具 | : 長袖作業衣                                                                                                                                |

## 9 物理的及び化学的性質

|               |              |
|---------------|--------------|
| 物理的状態         | : 固体         |
| 色             | : 灰白色        |
| 臭い            | : データなし      |
| 沸点又は初留点及び沸騰範囲 | : データなし      |
| 可燃性           | : データなし      |
| pH            | : データなし      |
| 溶解度           | : データなし      |
| 溶解性（水）        | : 可溶         |
| （その他の溶媒）      | : エタノールに難溶   |
| 蒸気圧           | : データなし      |
| 密度            | : データなし      |
| 粒子特性          | : 粒径範囲 1～4mm |
| その他のデータ       |              |
| かさ比重          | : 約 1.0      |

## 10 安定性及び反応性

|           |                      |
|-----------|----------------------|
| 反応性       | : データなし              |
| 化学的安定性    | : 通常の取扱い条件において安定である。 |
| 危険有害反応可能性 | : データなし              |
| 避けるべき条件   | : 高温、多湿              |

# 製品安全データシート

整理番号 : jcam-6015  
改定日 : 2021 年 5 月 20 日

混触危険物質 : データなし  
危険有害な分解生成物 : データなし

## 1.1 有害性情報

急性毒性（経口） : 区分に該当しない  
構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。  
<尿素>  
ラット LD<sub>50</sub> ♂14,300mg/kg ♀15,000mg/kg  
マウス LD<sub>50</sub> ♂11,500mg/kg ♀13,000mg/kg  
<塩化カリウム>  
ラット LD<sub>50</sub> 3,020mg/kg (SIDS)  
以上のデータより、区分に該当しないとした。

急性毒性（経皮） : 分類できない データなし  
急性毒性（吸入） : 分類できない データなし  
皮膚腐食性/刺激性 : 分類できない  
構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。  
<尿素>  
ヒトの試験では 7.5% で Slight irritation、30% で moderate との報告がある(48 時間)。  
ICSC では皮膚に対し発赤と記載されている。  
ウサギの試験では刺激性は認められていない。  
上記の有害性情報があるが、JISZ7252:2019 の表 B.4 の判定基準（皮膚刺激性の区分）を満たす証拠がなかったため、分類できないとした。

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性 : 分類できない  
構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。  
<尿素>  
ICSC では眼に対し発赤と記載されている。  
ウサギの試験では刺激性は認められていない。  
<塩化カリウム>  
ウサギ 500mg/24H 軽度 (RTECS)  
ウサギの眼刺激試験で、適用 24 時間後の観察で "mild reaction" と評価されている (JETOC 推定)  
上記の有害性情報があるが、JISZ7252:2019 の表 B.8 の判定基準（可逆的な眼への影響に関する区分）を満たす証拠がなかったため、分類できないとした。

呼吸器感作性 : 分類できない データなし  
皮膚感作性 : 分類できない データなし  
生殖細胞変異原性 : 分類できない データなし  
発がん性 : 分類できない データなし  
生殖毒性 : 分類できない データなし

|                     |                |
|---------------------|----------------|
| 特定標的臓器毒性<br>(単回ばく露) | : 分類できない データなし |
| 特定標的臓器毒性<br>(反復ばく露) | : 分類できない データなし |
| 誤えん有害性              | : 分類できない データなし |

## 1 2 環境影響情報

### 生態毒性

水生環境有害性短期 (急性) : 分類できない  
ただし、構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。

#### <塩化カリウム>

ササノハ珪藻 EC<sub>50</sub> 1,337mg/L/120hr (SIDS)

オオミジンコ EC<sub>50</sub> 660mg/L/48H (SIDS)

水生環境有害性長期 (慢性) : 分類できない  
ただし、構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。

#### <塩化カリウム>

オオミジンコ EC<sub>50</sub> 130mg/L/21d (SIDS)

|           |                                                   |
|-----------|---------------------------------------------------|
| 残留性・分解性   | : データなし                                           |
| 生体蓄積性     | : データなし                                           |
| 土壤中の移動性   | : 施肥にあたっては、包材裏面の「施肥量」を参照し、詳しくは最寄りの JA にお問い合わせ下さい。 |
| オゾン層への有害性 | : データなし                                           |

### [ポリエチレン (合成高分子)]

海洋環境有害性 : HME に該当する

閉鎖性水域では水質の富栄養化をもたらすので、排水については「水質汚濁防止法」の排水基準を守ること。

## 1 3 廃棄上の注意

1. 下水、河川等に直接流さない。
2. 「廃掃法」にしたがって処理する。
3. 燃やさない (不燃物であるが加熱すると有害ガスを発生する)。

## 1 4 輸送上の注意

### 国際規制

|      |        |
|------|--------|
| 国連番号 | : 該当なし |
| 品名   | : 該当なし |
| 国連分類 | : 該当なし |
| 容器等級 | : 該当なし |

|                           |                                                    |
|---------------------------|----------------------------------------------------|
| IMDG (国際海上危険物規則)          | : 該当なし                                             |
| ICAO-TI (国際民間航空機関技術指針)    | : 該当なし                                             |
| ／IATA-DGR (国際航空運送協会危険物規則) |                                                    |
| 国内規制                      | : 下記の法令に従い、規定の積載方法、容器等によって輸送する。<br>船舶安全法, 航空法, 湾則法 |
| 輸送の特定の安全対策及び条件            | : 1. 雨水等による水濡れ防止を行う。<br>2. 破袋、荷崩れ等を起こさぬよう適切な対策をとる。 |

## 1 5 適用法令

|                 |                                                                                                        |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 肥料の品質の確保等に関する法律 | : 指定配合肥料                                                                                               |
| 消防法             | : 該当しない                                                                                                |
| 労働安全衛生法         |                                                                                                        |
| 粉じん則            | : 粉じんが発生する屋内作業場は粉じん則が適用される。<br>粉じんを多量に吸入した場合、肺障害等の健康障害のおそれがあるため、作業環境測定を行うとともに、その結果に基づいたリスクアセスメントを行うこと。 |
| 船舶安全法           | : 該当しない                                                                                                |
| 航空法             | : 該当しない                                                                                                |
| 湾則法             | : 該当しない                                                                                                |
| 化学物質排出把握管理促進法   | : 該当しない                                                                                                |

## 1 6 その他の情報

- 1) 本安全データシート (SDS) は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。
- 2) 本文中の注意事項は通常の手扱いを想定しておりますので、製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。
- 3) 当社は、SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。
- 4) 本 SDS の危険有害性は、以下の情報・基準を元に作成いたしました。
  - ・ 厚生労働省「職場のあんぜんサイト」の GHS 対応モデル SDS
  - ・ 当社原料メーカーから入手した原料 SDS
  - ・ JISZ7252:2019「GHS に基づく化学品の分類方法」
  - ・ 「危険物船舶運送及び貯蔵規則」

本製品については、下記にお問い合わせください。

|      |                                  |
|------|----------------------------------|
| 会社名  | : ジェイカムアグリ株式会社                   |
| 連絡先  | : 生産管理本部                         |
| 住所   | : 東京都千代田区神田須田町 2-6-6 ニッセイ神田須田町ビル |
| 電話番号 | : 03-5297-8904                   |

# 製品安全データシート

整理番号 : jcam-6015  
改定日 : 2021 年 5 月 20 日

---

F A X 番号 ; 03-5297-8908  
緊急連絡先 ; 水俣工場  
電話番号 ; 0966-63-2235